

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	614 つくば市環境審議会運営事業									
予算科目	01-040107-11 環境政策に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課			
市長公約							企画調整係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	－					事業期間	毎年度			
根拠法令等	環境基本法 つくば市環境基本条例 つくば市環境審議会条例					SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー			
							13気候変動に具体的な対策を			
							15陸の豊かさを守ろう			

事業の概要

対象	市民
目的	環境保全に関する条例や計画の策定、改廃の際に内容や原案について調査審議するため。
概要 (取組内容)	環境基本計画の見直し等に関する検討、計画に掲げる関連施策に該当する事業の実績報告、進捗確認を行う。つくば市環境審議会開催日程の調整、会議資料の作成を行う。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	300	300	1,614	1,572	300	
	決算額	(千円)	144	129	581	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	144	129	581	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,448	1,589	7,972	4,508	1,589	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	1.00	0.60	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	35.00	85.00	300.00	150.00	85.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	市民委員参画により、環境審議会におけるつくば市環境基本計画令和5年度実績報告の評価・検証・公表。

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		前年課題なし。
成果		環境基本計画の進捗管理に関する審議会を年度当初に開催し、委員意見を速やかに当該年度の個別事業の計画に反映させた。計画の見直し等に関する審議会を4回開催し、検討を進めた。
課題	業務	－
	組織、予算等	－
改善目標		－

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	615 つくば市環境白書作成事業									
予算科目	01-040107-11 環境政策に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課			
市長公約							企画調整係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	－					事業期間	毎年度			
根拠法令等	つくば市環境基本条例					SDGs				

事業の概要

対象	市民									
目的	つくば市の環境の状況、環境保全に関する施策の実施状況を広く市民や事業者公表するため。									
概要 (取組内容)	直近のつくば市の環境に関するデータやつくば市環境基本計画にある関連施策の進捗状況について、関係各課から取りまとめて作成し、ホームページにて公表する。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	17	3,020	17
	決算額	(千円)	0	11	5	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	11	5	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,078	1,589	1,694	2,315	1,431
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.20	0.20	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	14.00	85.00	100.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(－)	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	()				
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		前年度同様、他事業等との業務スケジュール都合により、公表時期を早める目標は達成できず、公表は年度末となった。
成果		第3次つくば市環境基本計画に掲げる施策の実績や市域の環境の現況を掲載した令和5年度環境白書を作成し、市ホームページに公表した。
課題	業務	市ホームページへの公表が年度末となってしまったため、他の業務との遂行を調整し、公表時期を早める必要がある。
	組織、予算等	－
改善目標		業務委託により内容の充実、構成の改善及びとりまとめの煩雑さの解消を進める。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	－	法令等により市の実施が定められている。
優先度	－	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	616 環境基本計画進行管理事業									
予算科目	01-040107-11 環境政策に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課			
市長公約							企画調整係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	第3次つくば市環境基本計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等	つくば市環境基本条例					SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー			
							13気候変動に具体的な対策を			
							15陸の豊かさを守ろう			

事業の概要

対象	市民、市職員									
目的	目指すべき将来像「豊かなつくばの恵みを未来につなぐ持続可能都市」の実現に向けて、環境施策の実効性を確保するため。									
概要 (取組内容)	第3次環境基本計画に掲げる関連施策に該当する事業の目的・目標について、関係各課に事業進捗管理調査票の提出を依頼し維持管理を行う。令和6年度から7年度にかけ、計画の中間見直しについて検討する。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	23	23	15,017	50,006	6	
	決算額	(千円)	13	11	5	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	13	11	5	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,460	1,589	17,930	15,511	7,114	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	2.00	2.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	40.00	85.00	1,400.00	700.00	85.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	市民委員参画により、環境審議会における環境基本計画の令和5年度実績および令和6年度計画の評価・検証・公表。

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		例年８月ごろ審議会において実施していた環境基本計画進行管理を前倒しし、５月に実施した。
成果		年度当初の５月に基本計画に基づく事業の計画の進行管理に関する審議会を開催することにより、委員の意見を速やかに当該年度の計画・目標設定に反映させることができた。 計画の中間見直しに関する審議会を３回開催し、検討を進めた。
課題	業務	基本計画に掲げる目標と各個別事業とのつながりがわかりづらい部分がある。また、基本計画と個別計画において進行管理が重複している部分がある。
	組織、予算等	－
改善目標		環境基本計画の中間見直しにおいて、計画全体の成果が見える適切な評価指標を設定する。また、進行管理の重複を解消し、効率化を図る。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	617 つくば市役所環境負荷低減事業									
予算科目	01-040107-11 環境政策に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課			
市長公約							企画調整係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	－					事業期間	期間限定複数年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	12つくる責任つかう責任			
							13気候変動に具体的な対策を			

事業の概要

対象	市職員									
目的	つくば市役所が行う事務事業からの環境影響を継続的に少なくするため。									
概要 (取組内容)	職員に対し、環境法令や地球温暖化対策に関する情報を提供する。また、グリーン購入を推進することで間接的な環境影響を小さくする。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	902	28	33	0	0	
	決算額	(千円)	640	26	20	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	640	26	20	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,485	1,589	848	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.10	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	85.00	50.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	環境管理委員会の開催回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0
	実績	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	0.0
	指標の概要	地球温暖化実行計画（事務事業編）の計画の進行管理は令和5年度から「推進会議」において実施しているため、当指標は廃止する。					

2	指標名	推進会議の開催回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0
	指標の概要	地球温暖化実行計画（事務事業編）の計画の進行管理は令和5年度から「推進会議」において実施しているため、当指標を設定する。					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		市役所の事務事業に関する温暖化対策の取組等の進捗管理は、実行計画（事務事業編）に基づいて「推進会議」において実施した。
成果		環境法令や地球温暖化対策に関する情報を引き続き電子書庫に掲載し、庁内に周知した。 グリーン購入に関する法の仕組みや、環境ラベル、Q&Aなどを電子書庫に掲載し、庁内に周知した。
課題	業務	－
	組織、予算等	－
改善目標		－

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	当枠組みとしては事業を廃止するが、「地球温暖化対策実行計画（事務事業編）推進事業」の中で関連事業とともに取組は継続していく。

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	618 クリーンエネルギー機器等購入補助事業									
予算科目	01-040107-23 低炭素な街づくりの推進に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課			
市長公約							地域脱炭素係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）					事業期間	毎年度			
根拠法令等	つくば市クリーンエネルギー機器設置事業補助金及び クリーンエネルギー自動車購入等補助金交付要綱					SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー			
							09産業と技術革新の基盤をつくろう			
							11住み続けられるまちづくりを			
							13気候変動に具体的な対策を			

事業の概要

対象	市民									
目的	機器設置費用の一部を補助することで、クリーンエネルギー機器を普及させ、家庭部門におけるCO2排出削減を図り地球温暖化防止に寄与する。									
概要 (取組内容)	クリーンエネルギー機器設置者等を対象に、補助金を交付する。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	12,000	27,200	25,362	39,557	39,557	
	決算額	(千円)	11,700	13,260	22,291	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	50	340	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	3,900	4,100	4,250	0	0
		その他	(千円)	7,800	9,110	17,701	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,611	3,896	4,260	2,703	2,703	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.65	0.55	0.50	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	75.15	40.00	260.00	260.00	260.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	クリーンエネルギー機器補助件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	220.0	150.0	200.0	200.0	410.0	350.0
	実績	229.0	230.0	196.0	198.0	311.0	327.0
	指標の概要	クリーンエネルギー機器(蓄電池、燃料電池)の補助件数					

2	指標名	クリーンエネルギー自動車補助件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	45.0	21.0	43.0	43.0	23.0	22.0
	実績	17.0	15.0	24.0	78.0	13.0	11.0
	指標の概要	クリーンエネルギー自動車(電気自動車、燃料電池自動車、ビークルトゥホーム)の補助件数 ※令和5年度から電気自動車が対象外					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		・研究機関・他自治体・住宅メーカー・設備メーカー等へヒアリングを行い、住宅・設備の先進的な取組、技術等に関する情報収集を行った。 ・燃料電池自動車について、水素ステーションの利便性向上させるよう民間事業者と意見交換を行った。
成果		・地球温暖化対策実行計画区域施策編懇話会、専門家等の意見から、太陽光パネルと連系することでCO2削減効果が高くなるエコキュート(昼間湧き上げ型自然冷媒ヒートポンプ給湯器)を補助対象として予算化をした。 ・燃料電池自動車について、水素ステーションの利便性向上のため土曜日を含む営業曜日に変更した。
課題	業務	クリーンエネルギー機器、自動車について、予算額まで補助金を利用してもらえるように周知する必要がある。
	組織、予算等	国、県等の補助金制度を活用し、財源確保に努める。
改善目標		・クリーンエネルギー機器、ビークルトゥホームシステムについて、市ホームページ、市広報誌以外にも効果的な周知方法を検討し、実践する。 ・クリーンエネルギー機器(蓄電池)の補助金について、県に対し補助額を拡大するよう要望をしていく。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	621 EV等普及促進事業									
予算科目	01-040107-23 低炭素な街づくりの推進に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課			
市長公約							公共脱炭素係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー			
							12つくる責任つかう責任			
							13気候変動に具体的な対策を			

事業の概要

対象	市民									
目的	EV等の低炭素車への転換を促し、自動車の走行に伴う温室効果ガス排出を抑制する。									
概要 (取組内容)	市域におけるEVの利便性向上を図るため、市公共施設に設置した急速充電器の適切な管理を行う。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	4,099	4,182	8,123	0	0	
	決算額	(千円)	2,823	1,298	6,070	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,823	1,298	6,070	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	21,452	3,877	7,344	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	3.15	0.55	1.00	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	32.00	47.35	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	急速充電器利用件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6,000.0	6,200.0	6,200.0	6,200.0	6,200.0	4,000.0
	実績	6,347.0	6,267.0	5,285.0	3,746.0	3,317.0	1,976.0
	指標の概要	市公共施設3か所(市役所(R6.11月撤去)、筑波交流センター、荃崎交流センター)における急速充電器の利用回数 ※設置及び運営が民間事業者に移行したため、R7以降は指標として管理しない。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		荃崎交流センター設置の急速充電器は、1/14（火）に運用を停止し、同日、荃崎バスロータリーで民間事業者が運用を開始した。また、市役所設置の急速充電器は、周辺に普及が進んでいるため、11/9（土）に撤去した。
成果		荃崎交流センター：4月～1月 EV用急速充電器の維持管理を実施。 1月（新）急速充電器へ入替。 3月（旧）急速充電器の撤去。 市役所：11月 急速充電器の撤去。
課題	業務	—
	組織、予算等	—
改善目標		—

評價

市民ニーズ		
進捗状況		
市の関与		
優先度		

方向性

方向性	終了
理由	市公共施設 2 か所に設置する急速充電器について、これまでは市が設置者のため利用者数を把握し、指標として取扱ってきたが、今般、2 か所とも民間事業者による設置・運用に変更したことにより、市の支出予算がなくなったため。

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	625 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）推進事業									
予算科目	01-040107-13 地球温暖化対策に要する経費					担当部課	生活環境部環境政策課			
市長公約						係名	地域脱炭素係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）					事業期間	毎年度			
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律					SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー			
							12つくる責任つかう責任			
							13気候変動に具体的な対策を			

事業の概要

対象	市民、事業所									
目的	市域における地球温暖化対策を推進し、温室効果ガス排出量を削減するため。									
概要 （取組内容）	つくば3Eフォーラムや企業、大学・研究機関、他自治体、県などと連携して、組織を超えた関係者による事業の検討、研究、企画等を進め、市域における地球温暖化対策を誘導する。 また、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の現計画の進捗管理、及び環境基本計画と一体となった新計画を策定する。 あわせて、気候市民会議つくば2023で提言された取組と施策の具体化、及びロードマップの進捗管理を行う。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	241	9,939	404	391	391	
	決算額	(千円)	72	9,524	171	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	72	9,524	171	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	9,342	14,251	10,287	8,484	8,484	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.30	1.80	1.20	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	200.00	750.00	650.00	650.00	650.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	地球温暖化対策進捗管理懇話会を開催し、市民委員を含む委員各位から意見を聴取している。

指標の推移

1	指標名	新たな施策の検討 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	実績	0.0	2.0	4.0	3.0	3.0	0.0
	指標の概要	令和6年度に策定した「ゼロカーボンで住みよいつくば市へのロードマップ～気候市民会議つくばの提言実現を目指して～」の提言と整合性を図るため削除。					

2	指標名	つくば市域の温室効果ガス排出量 (t-CO2)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	1,874,336.0	1,852,981.0	1,857,818.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	既存指標を削除するため、令和6年度から本指標を追加する。※温室効果ガス排出量推計に必要なデータの国等による公表が、約3年経過後となるため、令和3年度指標が最新となる。					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		産業技術総合研究所と意見交換から省エネ対策の効果検証に関する知見を得たり、市域の省エネ対策の加速化等の手立て検討のためモニタリングデータを筑波大学に提供した。
成果		・地球温暖化対策実行計画進捗管理懇話会を開催し、適切な進捗管理を実施した。 ・フォローアップチーム、専門家との意見交換等を経て「ゼロカーボンで住みよいつくば市へのロードマップ～気候市民会議つくばの提言実現を目指して～」を策定し、10月に公表した。 ・令和4年6月から開始したカーシェア事業の延長と2箇所（5台分）について運営事業者を公募した。
課題	業務	2050年にゼロカーボンを達成できるよう、国の動向を踏まえながら地球温暖化対策推進法に基づく促進区域制度、太陽光発電等設置に関する検討等に加え、施策体系の見直し、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定を進める必要がある。
	組織、予算等	市域の脱炭素排出割合の多数を占める市内研究機関と密な協議を行うためには現在の人員・組織体制では不足している。
改善目標		専門部会において、委員からの意見も踏まえつつ、パブコメで市民から広く意見を受けながら改定を進める。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	626 筑波山自然環境教育事業									
予算科目	01-040107-12 環境教育に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課 企画調整係			
市長公約	67									
戦略プラン	Ⅱ-6	1	2	体験型の身近な環境教育事業			新規・継続	継続		
	Ⅳ-4	4	1	持続可能な開発のための教育の推進			事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	一部委託		
個別計画	第3次つくば市環境基本計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等	—					SDGs	13気候変動に具体的な対策を			
							14海の豊かさを守ろう			
							15陸の豊かさを守ろう			

事業の概要

対象	市民
目的	市内の身近な自然環境について学ぶ機会を提供し、豊かな自然環境の保全に対する意識の向上を図る。
概要 (取組内容)	筑波山をはじめ里山、河川、市中心部に残された緑など身近な自然の良さについて知る機会や場を提供するため、観察会等を開催する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	1,422	1,450	1,641	0	0	
	決算額	(千円)	858	887	774	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	858	887	774	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,802	3,824	3,862	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.55	0.50	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	14.25	10.00	100.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	有	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	参加者へのアンケート
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	自然環境教育事業参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	114.0	41.0	82.0	216.0	278.0	171.0
	指標の概要	(個別施策Ⅱ-6-①身近な自然を楽しむ環境づくり) (個別施策Ⅳ-4-④低炭素化の推進) 自然環境教育事業への参加者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		各事業において、各種広報媒体により参加者を募集する際、企画名を検討するなど、参加者を増やすための工夫をした。
成果		「里山ウォーク」（4/20 参加者20人）、「桜川稚魚放流」（7/3：参加者54人（1校））、「桜川探検隊（里山でワクワク体験）」（8/21 参加者24人）、「小野川探検隊（パドルボート体験）」（9/21 参加者32人）、「田んぼの水生昆虫と植物の観察会」（9/22 参加者16人）、「桜川探検隊（クリスマスリース）」（11/16 参加者9人）、「田んぼの水生昆虫と植物の観察会」（11/30 参加者16人）
課題	業務	－
	組織、予算等	－
改善目標		－

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	令和7年度から当事業で実施していた取組等は、所管課を環境保全課に変更する。

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	627 つくば市環境マイスター育成事業									
予算科目	01-040107-12 環境教育に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課 企画調整係			
市長公約										
戦略プラン	Ⅱ-6	1	3	次世代の担い手育成事業			新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	職員のみ		
個別計画	第3次つくば市環境基本計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等	－					SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー			
							12つくる責任つかう責任			
							13気候変動に具体的な対策を			

事業の概要

対象	マイスター認定者、市民									
目的	地域社会における環境活動のリーダー的役割を担う目的で育成した人材の活用を図る。									
概要 (取組内容)	既存の環境マイスター認定者の活用事業としてマイスター認定者が市の環境事業に関わることにより、マイスター認定者の活動の場を広げることで、環境活動のリーダー的役割を担う後押しをする。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	95	120	155	0	0	
	決算額	(千円)	41	85	82	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	41	85	82	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,105	2,443	773	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.35	0.10	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	25.15	10.00	20.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	1 級認定者の延べ人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0
	実績	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0
	指標の概要	(個別施策Ⅱ-6-①身近な自然を楽しむ環境づくり) 1 級認定者数					

2	指標名	環境マイスター認定者活用事業の実施回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	1.0
	指標の概要	「里山ウォーク」及び「アイラブつくば事業」等の実施回数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		環境マイスター認定制度の見直しの検討を引き続き進める。
成果		筑波山自然環境教育事業「里山ウォーク」（1回）を実施した。団体と意見交換を実施した。 筑波山立体模型地図をジオミュージアムで活用できるように調整した。
課題	業務	認定制度について整理が必要である。
	組織、予算等	—
改善目標		認定制度の在り方を検討する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	令和7年度から活用事業については、所管課を環境保全課に変更する。

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	620 つくば環境スタイルサポーターズ事業									
予算科目	01-040107-23 低炭素な街づくりの推進に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境政策課 企画調整係			
市長公約										
戦略プラン	IV-4	1	1	食品ロス削減に向けた意識啓発		新規・継続	継続			
	IV-4	4	1	持続可能な開発のための教育の推進		事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	－					事業期間	毎年度			
根拠法令等	－					SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー			
							12つくる責任つかう責任			
							13気候変動に具体的な対策を			

事業の概要

対象	市民									
目的	環境に関するイベント等の啓発活動を行うことにより、つくば環境サポーターズ会員を中心とした市民の環境意識の向上を図る。									
概要 (取組内容)	環境配慮に関する意識を高めていくため、つくば環境スタイルサポーターズ会員を中心に、市の環境関連情報の提供を行う。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	1,685	637	120	6	6	
	決算額	(千円)	385	126	138	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	385	126	138	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,440	2,085	773	704	704	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.30	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	14.30	5.00	20.00	5.00	5.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	サポーターズ会員数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	9,500.0	10,000.0	10,200.0	10,300.0	10,400.0	10,500.0
	実績	9,553.0	9,650.0	9,917.0	10,367.0	10,474.0	10,611.0
	指標の概要	(個別施策IV-4-①食品ロス削減に向けた意識啓発) (個別施策IV-4-④低炭素化の推進) 個人会員数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		－
成果		メール配信：47回 ゴーヤ苗配布（事業所会員）：62事業所、1,000株 エコ・クッキング体験事業（市民向け）：3回（計44名）
課題	業務	会員間のネットワークやポテンシャルが活用しきれていない。
	組織、予算等	－
改善目標		会の在り方について検討する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	622 コミュニティ型低炭素モデル街区整備事業										
予算科目	01-040107-23 低炭素な街づくりの推進に要する経費					担当部課	生活環境部環境政策課				
市長公約	79						係名	地域脱炭素係			
戦略プラン	IV-4	4	2	低炭素なまちづくり（建物・街区）の推進			新規・継続	継続			
							事業分類	自治事務（任意）			
							事業体制	職員のみ			
個別計画	つくば市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）						事業期間	毎年度			
根拠法令等	つくば市低炭素住宅普及促進奨励金交付規則						SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー			
								12つくる責任つかう責任			
								13気候変動に具体的な対策を			

事業の概要

対象	市民
目的	市域の低炭素化を図るとともに、低炭素社会づくりを先導する。
概要 （取組内容）	環境配慮型住宅の整備やHEMSを通じたエネルギーの可視化などを行う低炭素モデル街区を形成し、成果を発信することで、低炭素まちづくりの面的な普及促進を図る。 つくば市低炭素（建物・街区）ガイドラインに基づく認定を受けた住宅の普及を促進するため、認定交付金を交付し、温室効果ガスの排出の抑制を図る。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	23,044	22,011	22,073	12,519	7,021	
	決算額	(千円)	22,200	14,111	10,340	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	4,811	1,640	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	22,200	9,300	8,700	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,872	3,479	2,541	1,746	1,746	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.55	0.50	0.30	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	51.35	10.00	150.00	150.00	150.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	低炭素モデル街区の街区数（街区）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	（個別施策IV-4-④低炭素化の推進）環境配慮型住宅の整備やHEMSを通じたエネルギーの可視化等を行う街区。同一事業として行う複数区画のまとまりを1街区として当該目標年度に建築が開始された街区の数					

2	指標名	つくば市低炭素ガイドラインの認定住宅数 (戸)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	55.0	55.0	55.0	220.0	220.0
	実績	67.0	83.0	111.0	111.0	93.0	103.0
	指標の概要	つくば市低炭素ガイドラインに基づく低炭素住宅認定戸数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		国の法制度の改定状況を注視しつつ、地球温暖化対策（区域施策編）の改定における方向性の検討、気候市民会議の提言を総合的に勘案し、つくば市低炭素（建物・街区）ガイドランの改定に向けて、方向性を検討した。
成果		- つくば市低炭素（建物・街区）ガイドラインに基づく奨励金件数 戸建レベル3：103件 - ガイドライン改定の方向性について国の法制度の改定状況等を総合的に勘案し、検討した。
課題	業務	つくば市低炭素（建物・街区）ガイドラインに基づく奨励金について、広く周知する必要がある。
	組織、予算等	地球温暖化対策（区域施策編）の改定作業、気候市民会議の提言との整合性を図りながら、つくば市低炭素（建物・街区）ガイドラインの改定を進めるためには、現在の人員、組織体制では不足している。
改善目標		つくば市低炭素（建物・街区）ガイドラインに基づく奨励金について、市ホームページ、市広報紙以外に効果的な周知方法を検討し、実践する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	623 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）推進事業										
予算科目	01-040107-13 地球温暖化対策に要する経費					担当部課	生活環境部環境政策課				
市長公約	79						係名	公共脱炭素係			
戦略プラン	IV-4	4	3	公共施設の低炭素化			新規・継続	継続			
							事業分類	自治事務（義務）			
							事業体制	一部委託			
個別計画	第3次つくば市役所地球温暖化対策実行計画事務事業編（改定版）					事業期間	毎年度				
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律					SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー				
							12つくる責任つかう責任				
							13気候変動に具体的な対策を				

事業の概要

対象	公共施設									
目的	つくば市役所の事務事業活動によって排出される温室効果ガスの排出量を削減する。									
概要 （取組内容）	・公共施設の脱炭素化を図るために、省エネ改修及び再エネ設備導入を促進する。 ・つくばサステナスクエアの焼却施設で発電した電力の公共施設への自己託送や環境配慮契約に基づいた電力契約等を行う。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	41,289	79,213	63,130	63,001	63,001	
	決算額	(千円)	24,959	77,525	61,292	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	18,077	63,050	44,841	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	6,882	14,475	16,451	0	0
人件費	人件費計	(千円)	17,448	7,919	14,624	14,602	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.30	1.00	2.00	2.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	730.00	417.00	69.30	325.38	0.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	省エネ診断と再エネ調査実施件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	1.0	4.0	3.0	0.0	1.0	6.0
	指標の概要	省エネ改修や再エネ設備導入に向けて、公共施設を対象に省エネ診断又は再エネ導入調査を実施する。					

2	指標名	つくば市役所CO2削減量 (t-CO2)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	50.0	20.0	50.0	0.0	0.0
	実績	0.0	88.0	32.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	省エネ設備への更新やエネルギー転換などを行い、公共施設の低炭素化を図る。 (つくば市役所地球温暖化対策実行計画改定に当たり、R4年度からは指標3で事業評価を行う)					
3	指標名	つくば市役所温室効果ガス排出量 (t-CO2)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	49,358.0	47,791.0	46,224.0
	実績	0.0	0.0	0.0	53,251.0	50,159.0	54,901.0
	指標の概要	エネルギー消費や公用車の運行、廃棄物の焼却等により市役所が排出する温室効果ガスを削減する。 R4年度以降、排出量の算定方法を変更(焼却ごみのプラごみ比率を1年平均値から3年平均値に変更)					
4	指標名	推進会議の開催回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0
	実績	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0
	指標の概要	推進会議を開催し、2030年度温室効果ガス排出量削減の目標達成に向け、重点取組である照明のLED化、公用車のEV化及び太陽光発電設備導入の進捗確認等を行う。					
5	指標名	自己託送実施によるCO2削減量 (t-CO2)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	1,333.2	1,953.1	1,953.1
	実績	0.0	0.0	0.0	384.8	1,796.5	2,055.7
	指標の概要	自己託送により電力の購入量を削減し、CO2排出量を削減する。(R4年10月から事業開始)					

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		R6推進会議にて各部長等にLED改修の進捗状況や一般照明用蛍光灯製造終了の報告・周知を行った。 R5太陽光発電設備導入調査の結果「導入の可能性が高い」施設所管課に対し、個別に調査結果のフィードバックを行った。脱炭素先行地域内公共施設に対して、事業者によるサウンディング調査を実施した。
成果		・サステナスクエア焼却施設で発電した電力の自己託送により、2,056t-CO2排出量を削減した。 ・環境配慮契約に基づいた電力需給契約を91施設で締結した。
課題	業務	サウンディング調査結果から、構造計算書のない施設では耐荷重の算定方法や安全性の担保、責任所在等に課題があることが分かった。従来型の設置方法以外にも、垂直・軽量型の設置方法等を検討する必要がある。
	組織、予算等	予算上の制約により、LED改修が進んでいない施設がある。
改善目標		軽量・垂直型パネル等の情報収集や他自治体等における導入事例の調査を進め、構造計算書のない施設への導入方針を決定する。複数の公共施設一括発注等、コスト削減につながるLED改修について調査・検討する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	自己託送事業の対象施設を拡大するため。	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	148 脱炭素先行地域づくり事業									
予算科目	01-040107-24 脱炭素先行地域づくり事業に要する経					担当部課	生活環境部環境政策課			
市長公約							係名	地域脱炭素係		
戦略プラン	IV-4	4	3	公共施設の低炭素化			新規・継続	新規		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	一部委託		
個別計画							事業期間	期間限定複数年度		
根拠法令等							SDGs	07エネルギーをみんなにそしてクリー		
	09産業と技術革新の基盤をつくろう									
	13気候変動に具体的な対策を									
	15陸の豊かさを守ろう									

事業の概要

対象	脱炭素先行地域エリア内の需要家、住民、市民									
目的	市域における2050年にカーボンニュートラル、2030年温室効果ガス排出量46%削減目標の実現に向け、中心市街地に「脱炭素ドミノ」のモデル地区をつくるもの。									
概要 (取組内容)	環境省「脱炭素先行地域」として当市が選定された第4回選定（令和5年11月）時点では延べ74件（2030年までに100件選定予定）が選定され、茨城県内では初の選定である（令和7年5月時点では延べ88件）。令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）までの5年間に環境省からの交付金等による支援（交付率2/3）を受け、つくば市の中心部、TXつくば駅を中心として概ね半径500mの範囲の脱炭素化に向けた事業を実施するもの。特に、既存共同溝を活用したマイクログリッドの構築や、地域資源を活用したバイオマス発電等により、対象エリアにおいて2030年までに脱炭素化を目指す。									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	0	1,012	140,204	1,709,308	1,690,791	
	決算額	(千円)	0	161	149,064	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	161	14,158	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	134,906	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	19,001	21,543	20,662	20,662	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	2.40	2.50	2.50	2.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	1,000.00	1,400.00	1,400.00	1,400.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	エリア内の電気由来CO2の削減 (t-CO2)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	脱炭素先行地域づくり事業実施計画に記載した当該年度の事業を実施することで削減される電気由来CO2の削減量 ※環境省の指標と同じにするため、新たに2指標追加し本指標を廃止する					

2	指標名	実質ゼロの進捗率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
	指標の概要	(再エネ等電力供給量＋省エネによる電力削減量)÷エリア内の合計電力需要量 ※単位kWh/年 ※進捗率100%はR12年度 ※環境省の指標と同じにするため、令和6年度から本指標を追加する					
3	指標名	エリア内の新規再エネ導入量 (kW)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	73.3
	指標の概要	太陽光発電、バイオマス発電の新規導入量合計 ※環境省の指標と同じにするため、令和6年度から本指標を追加する					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		・13の取組ごとに担当者を置くことに加え、共同提案者との定例的な情報共有をすることで、業務が属人化しないよう体制を構築した。
成果		・計画提案書に記載した13の取組について、共同提案者、需要家及び産業技術総合研究所、農業食品産業技術総合研究機構等研究機関との協議を行った。また、マイクログリッド構築、省エネ改修、再エネ設備整備等の事業を実施した。 ・つくばスマートシティ協議会グリーン分科会を開催した。
課題	業務	・間接補助金交付事務において、申請から完了、交付金支払いまでの一連の流れが複雑なため、工数を要している。 ・事業の具現化に向けた関係者との調整に時間を要するものが多くある。
	組織、予算等	計画提案書に記載した13の取組を更に進めるためには、現在の人員、組織体制では不足している。
改善目標		・脱炭素に関する専門知識及び業務経験を有する民間企業のノウハウを活用することで体制を強化する。 ・間接補助金交付事務の精度向上及び工数削減のため、内部のマニュアルを作成する。 ・計画期間全体の見通しをもって、需要家との打合せや関係者との調整を行う。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	－